

小学校入学用の袋物の制作にお力を貸してください

間もなく東日本大震災から一年になりますが、被災した方々の生活の困難はまだまだ続いています。

家財を失い、それまで普通にできていたことができなくなったご家庭も少なくありません。たとえば、小学校入学時に準備する、運動着入れ、上履き入れなどの「袋物」もその一つです。そこで、用意が難しいご家庭に代わり、手作りしてお贈りできないかと考えました。学園で培ったお裁縫の力を生かしてご協力いただければ幸いです。

これらは昨年、全国友の会で制作し、石巻や女川の小学校にお贈りしたところ、「手作りのものは保護者には大変喜ばれました」と、先生方から感謝の言葉が多数寄せられました。それまでは、レジ袋などで代用していたとのこと。その経験から、今年は卒業生の皆様にもご協力を仰ぎ、宮城県沿岸部すべての被災した新一年生に贈りたいと思っています。教育委員会を通し、各小学校にご案内したところ、2月17日現在、総数680人分2600点の申し込みがありました。すでに何人もの方が縫い始めて下さっていますが、あと800点の制作が必要です。2～3点でも構いません。また、卒業生でないお友達と共に作っていただいても、もちろん結構です。どうぞよろしくお願いいたします。

東北在住卒業生 根本(59回生) 島津・小山(55回生)

* 気仙沼市の小学校から以下のお便りをいただきました。

当校は、児童数412名の小学校です。(一部略)学区の沿岸部は津波で壊滅状態です。学校の手前200mで津波は止まりましたが、家を流出した子は40名弱、大規模半壊等で住めなくなった子が50名強います。親を亡くした子は2名います。現在も仮設住宅や親戚等の家に住んでいる子どもは50人を超えています。おそらく、新入学の子どもも同じような傾向にあると思います。ですから、手作りの袋物をいただけることはたいへん有難く思います。

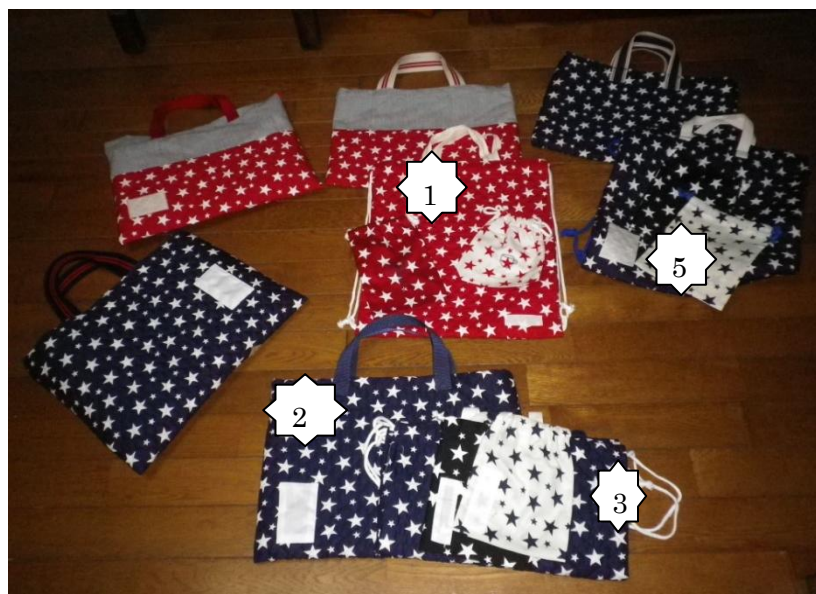
先ほど、新入学保護者説明会で袋物支援について話しました。お父さんが一人いて「震災で父子家庭になったので袋物をどうしようかと心配したのですが、助かりました。」という話をいただきました。

また、作成できない環境の家庭も多いと思います、ですから、本当に助かります。手作りの袋物は、新入学の子どもたちやその親にとっても素晴らしい贈り物になります。ありがとうございます。

サイズ、生地などについて

* 学校によって、セットの組み合わせなどにちがいがありますので、この中から2～6点のセットを、ボランティア参加申し込み後に連絡させていただき、作り方の詳細図もお送りします。

- 1.運動着入れ.....厚地またはキルティング地 40×35cm ナップザック型
- 2.絵本入れ.....厚地またはキルティング地 30×35cm 手提げ型
- 3.給食着入れ.....並地～中地 30×25cm 巾着型



- 4.上履き入れ...厚地またはキルティング地 26×15×マチ7cm 手提げ型
- 5.歯ブラシ・コップ入れ...並地(ブロードなど) 20×20cm 巾着型
- 6.文房具入れ...並地～中地 25×25cm 巾着型

期日:3月25日までにお願ひします。

問い合わせ:080-5566-6506 島津

rokube13@wit.ocn.ne.jp